

平成 25 年度学習内容定着度調査分析（宇都宮市立清原北小学校 3 年）

【国語】★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	大事なことを落とさないように聞き取ることはできているが、話し合いを聞いた上で自分の考えをもつことは苦手である。	日常的に「話す、聞く」活動を取り入れ、話し手の意図を感じながら聞きとり、話すことができるよう、継続して指導する。
漢字	2 学年配当漢字の書き取りに間違いが見られたが 3 学年の配当漢字の読み書きはとてもよくできた。	新出漢字の学習にとどまることなく、日常の表現指導（ノート、作文、日記、手紙）においても既習の漢字を使う指導の徹底を図る。
言葉の学習	漢字の部首やローマ字の決まりについて正答率が低かった。国語辞典の使い方についても市の平均を上回った。	地域学校園での辞書活用の取り組みが成果となって表れた。漢字の成り立ちや意味、部首についても継続指導し、習得を図る。ローマ字は日常的に触れられるよう継続した指導をしていきたい。
物語の内容を読み取る	登場人物の気持ちや場面の様子の読み取りで市の平均を下回った。	場面を区切り、場面ごとに文脈に沿って、登場人物の気持ちや場面の様子を読み取り、文章でまとめていく指導を行う。
説明文の内容を読み取る	目的や必要に応じて、文章の内容を読み取ることが不十分であり、段落相互の関係を読み取る力が必要である。	各段落の要点を読み取っていくとともに、段落と段落のつながりや段落の役割について考えさせる指導に力を入れていきたい。
インタビューの様子とメモを読み取る	資料から適切に情報を読み取ることや読み取った情報の共通点や相違点をとらえることが課題である。	問われていることの内容を確認させ、そのために必要な情報が何か考えさせる指導をしていきたい。
作文	指定された長さや 2 段落構成、自分の考えが明確になるような理由を書くこと、どれも市の平均を上回り、よく書けていた。	具体的な場面に即して、作文を書く経験を重ねるとともに段落構成で書く指導を今後も継続して行う。

【算数】★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	全体的には概ね理解しているが、除法の式を立てる文章題の正答率が低かった。	文章から問われていることを確認し、何算になるのかを考えることができるように、場面絵や図を活用しながら繰り返し指導を行う。
量と測定	ものさしやはかりの長さや重さを正しく読むことはできるが、身近にあるものの重さを推察して適切な単位を使うことについては理解が不十分であった。	具体物を実際にはかる活動を積極的に取り入れ、日常生活で使われている重さや時間を意識させながら、繰り返し指導をしていく。
図形	「はこの形」について直方体を作るときの必要な面の形と数を十分に理解していなかった。	実際の直方体を作ったり、広げたりして体験できる指導を工夫して取り組んでいく。
数量関係	□を使った式について、文章問題を表した図や式に表すことが概ねできるが、□を使った式に合った文章問題を選ぶことは正答率が低かった。	□を使った式を十分に理解しているとは言えないので、式から文章題を作る活動やその逆の活動を取り入れて、繰り返し指導していく。

